

京都と舞鶴における夏場の最高気温の比較（1961年～2012年）

土井 修 二*（一般社団法人 日本気象予報士会）

<はじめに>

筆者は丹波中部に在住し、長年夏の気温について体感をもって定点観測している。最近夏に舞鶴の最高気温が京都のそれを上回る比率が多くなっているのではと感じ、資料を集めて比較調査を試みたものである。

<調査方法>

気象庁のホームページより京都と舞鶴の気象資料を収集。1961年から2012年までの7月～9月の最高気温を調査し、舞鶴が京都より最高気温が高い日数を10年間隔で比較する。

<調査結果> 最高気温 舞鶴>京都（日数）

1961年～1970年

平均 25.1日(最大 34日 1970年)
7月 8.5日(最大 11日 1961, 62年)
8月 9.8日(最大 18日 1966年)
9月 6.4日(最大 14日 1970年)

1971年～1980年

平均 21.6日(最大 31日 1973, 75, 78年)
7月 8.9日(最大 17日 1978年)
8月 6.3日(最大 11日 1975年)
9月 6.4日(最大 11日 1973年)

1981年～1990年

平均 21.4日(最大 30日 1982年)
7月 8.1日(最大 14日 1982年)
8月 7.6日(最大 17日 1985年)
9月 5.3日(最大 9日 1983年)

1991年～2000年

平均 20.8日(最大 37日 2000年)
7月 7.4日(最大 12日 2000年)
8月 8.1日(最大 16日 2000年)
9月 5.0日(最大 9日 1999年, 2000年)

2001年～2010年

平均 26.1日(最大 39日 2010年)
7月 8.7日(最大 13日 2010年)
8月 10.4日(最大 19日 2010年)
9月 6.9日(最大 13日 2005年)

2011年～2012年（参考）

平均 35.0日
7月 11.5日
8月 14.5日
9月 9日

<結論>

3か月平均

1960年代は平均25日と多かったが、その後1990年代終りにかけて21日ぐらいに減少した。しかし2000年代に入って再び増加し、1960年代を上回る傾向にある。最近3年間は特に多く、2010年に39日、2011年に33日、2012年に37日と、3か月間で40日に迫る年もある。

1970年代は猛暑年が多い傾向がみられるが、最近はずしも猛暑の年が多いとは限らない。例えば1994年は3か月間で24回、最高気温記録の出た2007年は3か月間で29回となっている。

月別では8月の増加が最も顕著。ついで9月、7月の順となる。

最近では1960年代の傾向に近づいており、長周期の気温変動も考えられるが、最近3年間の値が極端なので結論はもう数年資料を集めてから判断したい。

今回天気図上での検討は行っていないが、舞鶴が高温になる場合、

- ① 日本海に低気圧もしくは、前線がある
 - ② 東シナ海もしくは沖縄近海を台風が北上
 - ③ 本州南海上を台風が西進
- など、京都近辺で南や南東の気流が卓越していることが多い。

<今後に向けて>

調査範囲をより過去に遡って調査すると共に、原因別、気圧配置による分類、解析なども行いつつ今後の夏の状況も引き続き調査することでこの傾向が今後も続くのか判断する必要がある。

<参考文献>

気象庁ホームページ掲載の京都地方気象台、

舞鶴海洋気象台の気象資料を使用した。